

28年度

もりおか暮らし物語賞

盛岡ブランド推進に貢献した人・団体を表彰

国際啄木学会 盛岡支部

(小林芳弘支部長)

石川啄木の研究を進めるため、平成元年に発足。平成8年からは、ほぼ毎月、研究会を開催しています。

また、啄木忌前夜祭の運営や世界・国内各地でセミナーを行うなど幅広く活動。昨年は同学会盛岡大会を開催し、学生短歌大会や啄木のゆかりの地を巡る文学散歩などを行い、市民が啄木に親しむ機会を提供するなど、郷土の先人の功績を広く知らしめることに貢献しています。



盛岡大会の文学散歩の様子

特定非営利活動法人 いわてアートサポート センター

(坂田裕一理事長)

芸術文化の創造と発信により地域文化の形成やコミュニティの活性化に寄与するため、平成17年に発足。盛岡出身やゆかりのある人の作品について公演を行うほか、朗読劇や地域の子どもたちが芸術に触れる機会の提供などさまざまな芸術文化活動を行っています。

近年は、もりおか町家物語館の指定管理者として、芸術文化を通じた豊かな地域と人づくりを進め、演劇のまちの発展に貢献しています。



光原社で開催された朗読劇

市は、盛岡ブランドの推進に寄与し、その功績が顕著である人や団体を「もりおか暮らし物語賞」として表彰しています。本年度は、4団体と1個人を決定しました。

【問】都市戦略室 ☎613-8370



これまでの受賞者などは市公式ホームページに掲載しています。

【広報ID】1009730

南部鉄器協同組合 青年部

(鈴木成朗部長)

約400年にわたり育まれてきた南部鉄器の伝統を将来につなげるため、その技術習得に日々研さんを積むとともに、24年度から「南部鉄器青年展」を毎年開催するなど、南部鉄器への理解を深める活動を行っています。

伝統技術に独自の感性を加えたものづくりを通じて、若手職人の技術・意識の向上と南部鉄器の魅力発信に努めるなど、伝統工芸品の振興に貢献しています。



若手の個性が光る作品が並ぶ青年展

本町振興会

(松本静毅会長)

中津川で例年3月に開催する「さけの赤ちゃん放流会」は、平成28年で22回目を数え、サケがさかのぼる川として知られる中津川の地域行事として定着しています。

昨年は新たに散策マップ付きのフリーペーパー「城下盛岡ほんちよう菜ものがたり」を発行するなど、観光客や修学旅行生を温かくもてなす活動にも取り組んでおり、観光振興と自然豊かなまちづくりに貢献しています。



毎年多くの親子が参加する放流会

小笠原 正治 さん

日活盛岡劇場に昭和29年に入社して以来、手書きの映画看板を60年以上にわたり制作。味のあるタッチと色使いで生み出す看板は、映画館通りの象徴となっています。

多くの映画館が軒を連ね、国際ミステリー映画祭の開催など独自の発展を遂げてきた盛岡の映画文化を、絵の具と筆で支えてきた功績が認められ、本年度の文化庁長官表彰に選ばれるなど、映画のまちの推進に貢献しています。



映画看板の下書きをする小笠原さん

もっと知りたい! 盛岡

市公式ホームページ

<http://www.city.morioka.iwate.jp/>



広報もりおかに掲載した記事の詳しい内容のほか、さまざまな市政情報を掲載!

パソコンやスマホからどうぞ

市公式ホームページのトップページにある検索窓に、紙面に掲載された広報ID(7桁の数字)を入力すると、記事の詳細を見ることができます。



サイトマップ 運営サイズ: 2



市公式ツイッター

<https://twitter.com/moriokashi>

市公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/moriokashi>

市政ラジオ番組

「もりおか暮らし物語」

ラヂオもりおか (FM76.9MHz) で毎月第2・4金曜の7時40分～7時50分、放送中。



毎回異なったテーマ・出演者で、旬な話題をお届け!

広告に関する問い合わせ

ナチュラルコム(株)

☎019-652-9190へどうぞ

もりけんに挑戦

(11ページに掲載) の答え

②夕顔瀬橋

編集後記

もりおか暮らし物語賞の受賞者はまさに「盛岡らしさ」を彩ってきた皆さん。活動し続ける志、そして伝統に新しい感性を取り入れる柔軟さと心意気を私も見習わねばと思います (高)

発行：盛岡市

☎020-8530盛岡市内丸12-2

☎019-651-4111

ファクス：019-622-6211

info@city.morioka.iwate.jp

編集：市長公室広聴広報課

☎019-613-8369

発行部数：14万2460部

1部当たり約13円で制作し、市内全世帯へ配布しています。経費の一部は広告料で賄っています。記事の無断転載を禁じます。©盛岡市2017



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。

広告

三陸鉄道・特別運行「震災学習列車」で行く

～被災地復興支援～東日本大震災から6年。変わったもの。変わらないもの。これからもずっと、語り継がれていくもの。

今だから、現在を感じる三陸。日帰り全2コース

【行程表】各コース添乗員同行／利用バス会社：【北リアス線コース】ラビット観光または同等【南リアス線コース】東日本交通または同等

北リアス線コース ～復活へ一歩一歩動き出す、北の海の光景～

盛岡駅(7:32発) +++ (IGRいわて銀河鉄道・各駅乗車可) +++ 一戸駅=== 洋野町種市地区「うに栽培センター」=== 【2016年4月営業再開】地下水族館「もぐらんぴあ」=== 道の駅くじ=== 久慈駅+++ 【三陸鉄道「震災学習列車」】+++ 田野畑駅(15:30頃着) === 島越駅(車窓) === 岩泉小本駅(16:10頃着)=== 盛岡駅西口(18:40頃着) (食事) 朝×昼○夕× (凡例) +++ 鉄道=== 貸切バス

南リアス線コース ～未来を見据えた、復興への軌跡。～

盛岡駅西口(8:00発) === 産直ともちゃん=== 陸前高田市「旧道の駅高田松原」「東日本大震災追悼施設」「奇跡の一本松」=== 気仙大工左官伝承館・希望の灯り===== 盛駅+++ 【三陸鉄道「震災学習列車」】+++ 釜石駅(15:25頃着) === 山田町・共同店舗棟「オール」=== 宮古駅(17:40頃着) === 盛岡駅西口(19:40頃着) (食事) 朝×昼○夕× (凡例) +++ 鉄道=== 貸切バス

三陸鉄道「震災学習列車」 列車で移動しながら、三陸鉄道社員または沿線住民の方が車内で震災の状況などを案内いたします。被災状況がご覧いただける場所では、一旦停止または徐行運転いたします。通常、学生・一般団体の方のみのご参加に限られている「震災学習列車」を、三陸鉄道のご協力により、今回当ツアーに限り一般の皆様にもご参加いただける「特別運行」として実施いたします。

十府ヶ浦



お問い合わせ
【旅行企画・実施】

銀河鉄道観光

☎019-601-9991
(営業時間 10:30～18:30／土日祝も営業)

観光庁長官登録旅行事業1966号
総合旅行業務取扱管理者 大下幸夫
※掲載の写真はイメージです



IGRいわて銀河鉄道株式会社
盛岡市青山二丁目2-8 TEL:019-601-9980(代)